

未来のために今はじめよう！



気候変動への「適応」

「適応」

世界各地で気温の上昇などが起こり、異常気象や自然災害の発生などの気候変動の影響が現れています。

気候変動は、私たちの食べる物やみなさんの健康にも様々な影響を与え、

その影響は今後さらにひどくなっていくかもしれないのです。

こうした気候変動の影響に対処し、被害を少なくする対策

「適応」が重要になっています。



短時間で降る大雨

厳しい夏の暑さ

1 気候変動には「緩和」と「適応」の2つの対策が必要です。

温室効果ガス^{*1}の増加

気候の変動

気候変動の影響

化石燃料の使用による
二酸化炭素の排出等

気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位の上昇など

生活、社会、経済、
自然環境への影響

^{*1} 温室効果ガスには、二酸化炭素、
メタン、一酸化二窒素、フロンガス
などがあります。



出典：環境省資料を基に作成

緩和

温室効果ガスの
排出を抑制する

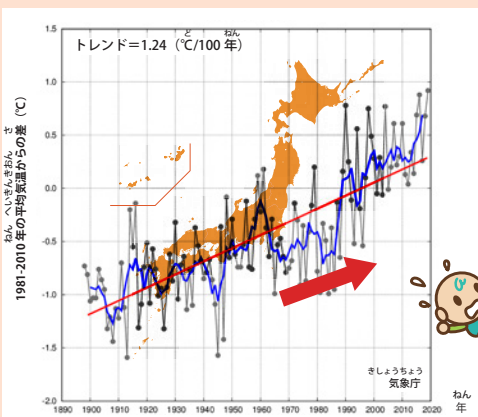
適応

気候変動の影響
に対処し、被害
を少なくする

「緩和」と「適応」
は車の両輪！



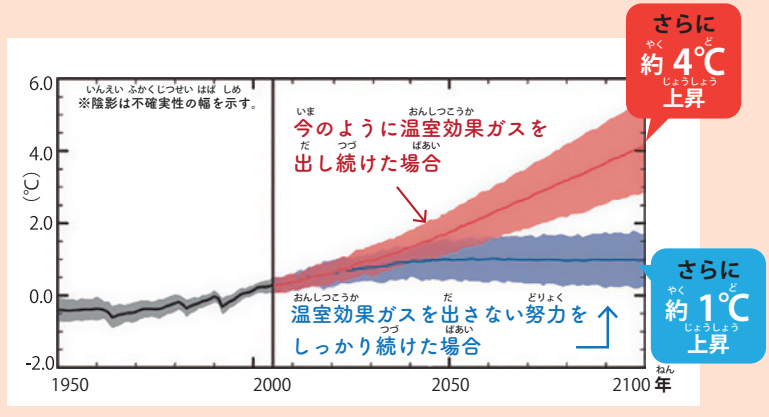
2 昔と比べて気温が上昇しており、さらなる気温上昇が予測されています。



日本の年平均気温
が上がっている！

100年で
1.24°C
上昇

特に1990年代以降、高温と
なる年が頻出しています。^{*2}
^{*2} 気象庁ホームページより



さらに
約4°C
上昇

さらに
約1°C
上昇

3 気候変動により、さまざまな影響が生じており、それに「適応」していくことが重要です。

農林水産業

現状・将来予測 品質低下 収量低下
考えられる適応策 高温耐性品種への変更、作付け時期の調整
 コメ (白米熟粒) リンゴ (日焼け)
 品質低下防止のための日よけ設置

水環境・水資源

現状・将来予測 漏水 水質悪化
考えられる適応策 節水・雨水利用などの工夫
 ダム湖 水の循環装置などを使用した水質改善

自然生態系

現状・将来予測 希少な動植物絶滅の可能性
考えられる適応策 森林のモニタリング、野生動物の個体群管理
 サング (白化現象)

自然災害・沿岸域

現状・将来予測 土砂災害 浸水被害
考えられる適応策 ハザードマップ (洪水被害予測地図) の確認、避難経路の確認
 治水安全度の向上のためのハード整備
 雨水貯留槽など

健康

現状・将来予測 熱中症
考えられる適応策 こまめな水分補給 エアコンの適切な使用
 ヒトスジマカが媒介するデング熱

産業・経済活動

現状・将来予測 生産設備などへの影響
考えられる適応策 事業継続計画 (BCP) の策定
 レジャー・観光などへの影響
 災害時多言語支援

国民生活・都市生活

現状・将来予測 インフラへの影響
考えられる適応策 地下鉄等の浸水対策
 植物の開花や紅葉など生物季節の観測



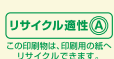
「適応」は、国や地方公共団体が行うものもあれば、個人で行えるものもあります。

健康や暮らしの安全を守ることを通じ、より一層豊かな社会を実現する、「適応」にはそういった側面もあるのです。

「適応」は新しい社会、そして未来を創造することとも言えるのです。みんなで力を合わせて、素晴らしい未来にいきましょう！



くわしくはホームページを見てね！



2018年9月28日作成 / 2020年9月17日改訂
 企画・監修：環境省 地球環境局 編集：国立環境研究所



気候変動の影響への適応に関する様々な情報を提供しています。
 「気候変動適応情報プラットフォーム」
www.adaptation-platform.nies.go.jp

